

作成日 2008年03月03日
改訂日 2009年10月01日
改訂日 2010年12月30日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 カルホス乳剤
会社名 保土谷UPL株式会社
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号
担当部門 営業部
電話番号 03-6225-3194 FAX番号 03-6225-3197
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 営業部 電話番号 03-6225-3194
整理番号 0205

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-------------------|-------------------|-----------------------|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | 区分3 |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） | 区分3 |
| | 急性毒性（経皮） | 区分外 |
| | 急性毒性（吸入：ミスト） | 区分4 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分2 |
| | 眼損傷／眼刺激性 | 区分2 |
| | 発がん性 | 区分2 |
| | 生殖毒性 | 区分1B |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | | 区分1（呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓） |
| | 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） | 区分1（呼吸器系、神経系） |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 区分1 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分3 |

*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：引火性液体及び蒸気

飲み込むと有毒
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器（呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓）の障害
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（呼吸器系、神経系）の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に有害

注意書き：

【予防策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
容器を密閉しておくこと。
火花・裸火のような高温の着火源になるものから遠ざけること。一禁煙。
耐熱手袋及び保護眼鏡／保護面・保護衣を着用すること。
容器を接地すること。アースをとること。
防爆型の機器を使用すること。
静電気対策に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
環境への放出を避けること

【対応】

火災の場合には消火に適切な手段を使用すること。
皮膚にかかった場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、石鹼と流水で洗うこと。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚刺激または発疹が生じたときは医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】

涼しく、換気のよい場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | | | | |
|-------------|---------------------------------------|------|---------|------|--|
| 化学名 | 0,0-ジエチル-0(5-フェニル-3-イソキサゾリル)ホスホロチオエート | | | | |
| 一般名 | イソキサチオン | | | | |
| 成分 | イソキサチオン | キシレン | エチルベンゼン | 有機溶剤 | |

| | | 50.0% | 13.5% | 12.4% | 24.1% |
|----------|-----|--|--------------------------------|--------------------------------|-------|
| 含有量(%) | | 50.0% | 13.5% | 12.4% | 24.1% |
| 化学式 | | C ₁₃ H ₁₆ NO ₄ PS | C ₈ H ₁₀ | C ₈ H ₁₀ | — |
| 官報公示整理番号 | 化審法 | — | (3)-3 | (3)-28 | — |
| | 安衛法 | 8-(7)-407 | (3)-3 | | — |
| CAS No. | | 18854-01-8 | 1330-20-7 | 100-41-4 | — |

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところへ移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石鹸を使いよく洗浄する。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で最低 15 分間洗眼し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受ける。解毒剤として硫酸アトロピン及び PAM 製剤が有効である。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水の噴霧、粉末、炭酸ガス、泡等
- 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼を防ぐため、周囲の設備等に散水する。消火作業は風上から行い、場合により呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : ・ 風上から作業し、風下の人を退避させる。
・ 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。
・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
・ 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
・ 作業の際には必ず保護具（農薬用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣等）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように 注意する。
- 除去方法 : ・ 少量の場合、漏洩液はおが屑、ウエス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
・ 大量の場合、土砂等でその流れを止め、表面を泡で覆い、できるだけ密閉できる空容器に回収する。
・ 火花を発生しない安全なスコップ等を使用するのが望ましい。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : ・ 法（消防法、毒物及び劇物取締法等）の基準に従った取扱いをする。
・ 適切な保護具（農薬用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣等）を着用して行う。使用する保護具は毎日洗浄したり、汚染すれば直ちに洗浄する等、常に清潔にする。
・ 眼に入ったり、皮膚や衣類に接触しないようにする。

- 保管
- ・取扱い後は、手足、顔及び衣類をよく洗う。
 - ・使用の際はラベルをよく読む。
 - ・法（消防法、毒物及び劇物取締法等）の基準に従った貯蔵を行う。
 - ・冷暗所で鍵のかかる専用保管庫に密閉容器に入れて保管する。
 - ・可燃物を近くに置かない。火気・熱源より遠ざける。（火気厳禁）

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いは、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度 : [キシレン]100ppm
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値（2000年版）；[キシレン]100ppm（430mg/m³）
- 保護具 : 呼吸用保護具（農薬用マスク）、保護眼鏡、保護手袋、（ゴム手袋）、保護衣（定められた作業衣、保護長靴または安全靴）などを必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 外觀等（製剤） : 黄赤色澄明可乳化油状液体
- 臭い（製剤） : 特異臭あり
- pH（1%） : 4～6

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

- 引火点（製剤） : 約 30℃
- 比重（製剤） : 1.08

10. 安定性及び反応性

- 安定性：通常のとおり、保管で安定。
- 反応性：通常のとおり、保管で安定。
- 避けるべき条件：加熱等により、刺激性のガス発生の危険性がある。
- 避けるべき材料：酸化剤との混触発火危険がある（危険性は一般有機化合物と同程度）。

11. 有害性情報

- 急性毒性（製剤） : 経口 区分3
ラット LD₅₀ ; ♂330mg/kg、♀300mg/kg
マウス LD₅₀ ; ♂206mg/kg、♀235mg/kg
マウス LD₅₀ ; ♂206mg/kg に基づき「区分3」とした。
: 経皮 ラット LD₅₀ ; ♂♀ >5,000mg/kg
- 感作性（製剤） : 陰性
- 皮膚刺激性（製剤） : 刺激性あり
- 眼刺激性（製剤） : 刺激性あり
- 発がん性 : 区分2の成分（エチルベンゼン）を12.4%含有するため、混合物として区分2に分類される。
- 生殖毒性 : 区分1Bの成分（キシレン、エチルベンゼン）を25.9%含有するため、混合物として区分1Bに分類される。
- 標的臓器/全身毒性(単回暴露) :
区分1（呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓）、区分3（麻酔作用）の物質（キシレン）13.5%、区分2（中枢神経系）、区分3（気道刺激性）の物質（エチルベンゼン）12.4%を含有するため、混合物として区分1に分類される。
- 標的臓器/全身毒性(反復暴露) :
区分1（呼吸器系、神経系）の物質（キシレン）13.5%を含有するため、

混合物として区分1に分類される。

1 2. 環境影響情報

残留性／分解性：土壌中での分解速度は土壌の成分等により異なるが、畑土条件下での有効成分での半減期は7日以内。

生態毒性

魚毒性（製剤）：コイ 96時間 LC₅₀；1.61mg/L
：オオミジンコ 48時間 EC₅₀；0.000173mg/L

藻類生長阻害 0-72時間 ErC₅₀；1.2mg/L

水生環境急性有害性は上記データより区分1に分類される。水生環境慢性有害性は区分2の物質（キシレン）13.5%を含有するため、混合物として区分3に分類される。

環境影響

通常の使用では影響は少ないが、一時に広範囲に使用する場合には十分に注意する。蚕に対して毒性があるので、桑にはかからないように注意をして散布する。ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。

1 3. 廃棄上の注意

国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律に従う。廃棄物を河川、下水道等に流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：クラス6.1 毒物 容器等級Ⅲ

国連番号：UN3017 有機リン系殺虫殺菌剤類（液体、毒性かつ引火性のもの、引火点 23℃以上 60℃以下のもの）

輸送の特定の安全対策及び条件：容器に収容し、常に密閉状態を保つ。容器が転倒、破損することのないように積載する。

ラベル表示：医薬用外劇物（白地赤文字）危険物第4類第2石油類 危険等級Ⅲ 火気厳禁

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：施行令別表第1危険物（引火性の物）

：表示対象物（キシレン）

：通知対象物（キシレン、エチルベンゼン）

消防法：第2条危険物第4類第2石油類（非水溶性）

毒物及び劇物取締法：医薬用外劇物

航空法：告示別表第9（毒物）

港則法：施行規則第12条危険物告示毒物

農薬取締法：登録番号第12455号

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）

：第1種指定化学物質第250号 [イソキサチオン]

：第1種指定化学物質第80号 [キシレン]

：第1種指定化学物質第53号 [エチルベンゼン]

1 6. その他の情報

引用文献：化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ（化学工業日報社）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

| 中毒110番 | 一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担) | 医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円) |
|---------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 大阪 (365日、24時間対応) | 072-727-2499 | 072-726-9923 |
| つくば (365日、9時~21時対応) | 029-852-9999 | 029-851-9999 |